



県内で腸管出血性大腸菌感染症が発生しています！

8月上旬の気温が高かった時期に比べ8月中旬以降気温は落ち着いてきていますが、依然、腸管出血性大腸菌による感染症が発生しています。特に、8月10日からのお盆の1週間には県内で3件（昨年同期1件）発生しており、それ以降も発生しています。感染予防のために、以下のことについて心がけましょう。

手洗いを徹底する

- ・調理や食事の前
- ・用便後や便の始末後

調理器具は清潔にする

- ・食品ごとにこまめに流水で洗う、熱湯をかけておく

肉類は十分に加熱する

目安は中心部の温度が 75℃で1分以上

結核は過去の病気ではありません

《こんなときは病院へ！》

日本国内において結核は今でも1日に56人の新しい患者が報告されており、また1日に6人が命を落としている重大な感染症です。痰に結核菌がいる患者がせきをする、菌が空気中に飛び散り、それを周りの人が直接吸い込むことによって感染します。

結核に感染しても、健康で体力があれば免疫力によって、結核の発病は抑えられます。しかし栄養状態が悪い場合や、加齢とともに免疫が低下すると、結核を発病する危険性が高くなります。右上のような症状がある場合にはマスクを着用し、早めに医療機関にかかって下さい。



9月24日～30日は結核予防週間です。

結核に関する情報は[結核研究所](#)で検索。

～医療機関、市町、学校、施設関係の担当者の方へ～

＜結核健康診断月報の提出について＞結核のまん延予防のために健診は非常に大切です。健診を実施し、対象施設の管理者は別添様式によって当センターまでご報告ください。報告様式は当センターのホームページからダウンロードもできます。

～保育所、幼稚園、小中学校、高等学校等の担当者の方へ～

9月1日からインフルエンザ様疾患の集団発生状況の把握を開始しましたので、「学校欠席者情報収集システム」への入力をお願いします。

福井県感染症発生動向調査速報

(第32週 H27年8月3日～第35週 H27年8月30日)

- 2類:結核 11名(0名)
- 3類:腸管出血性大腸菌感染症 8名(0名)
- 5類:劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1名(0名)、侵襲性肺炎球菌感染症 3名(0名)、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 2名(0名)、クロイツフェルト・ヤコブ病1名(0名) 梅毒1名(0名) * ()内は若狭管内の発生

[発信者] 若狭健康福祉センター
 地域保健課 時岡・宮下
 TEL:0770-52-1300 FAX:0770-52-1058
 メール:w-fukusi-c@pref.fukui.lg.jp
 ※ご意見ご感想をお待ちしています。